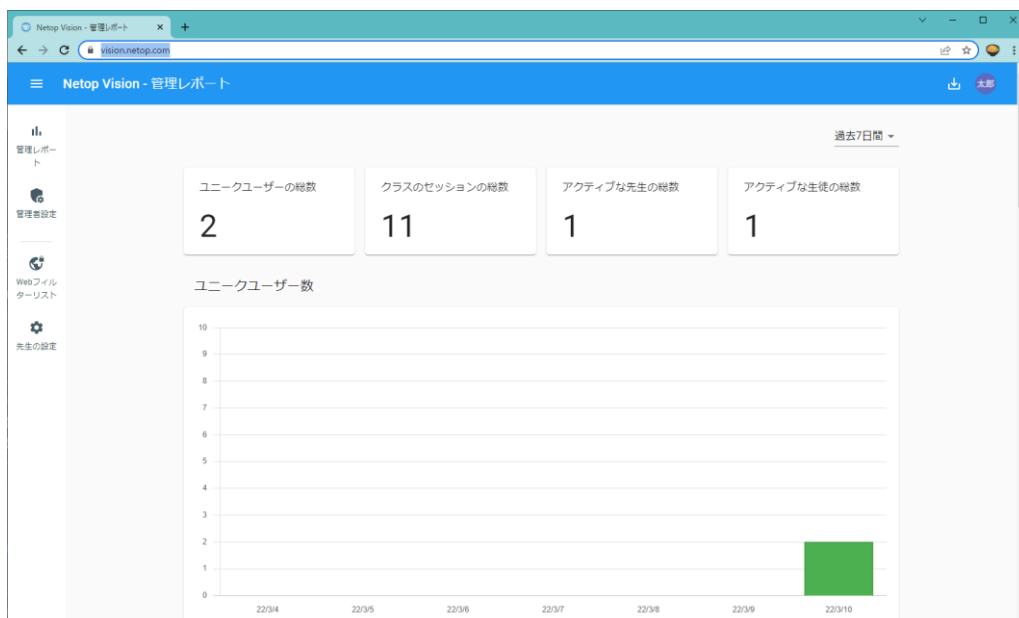
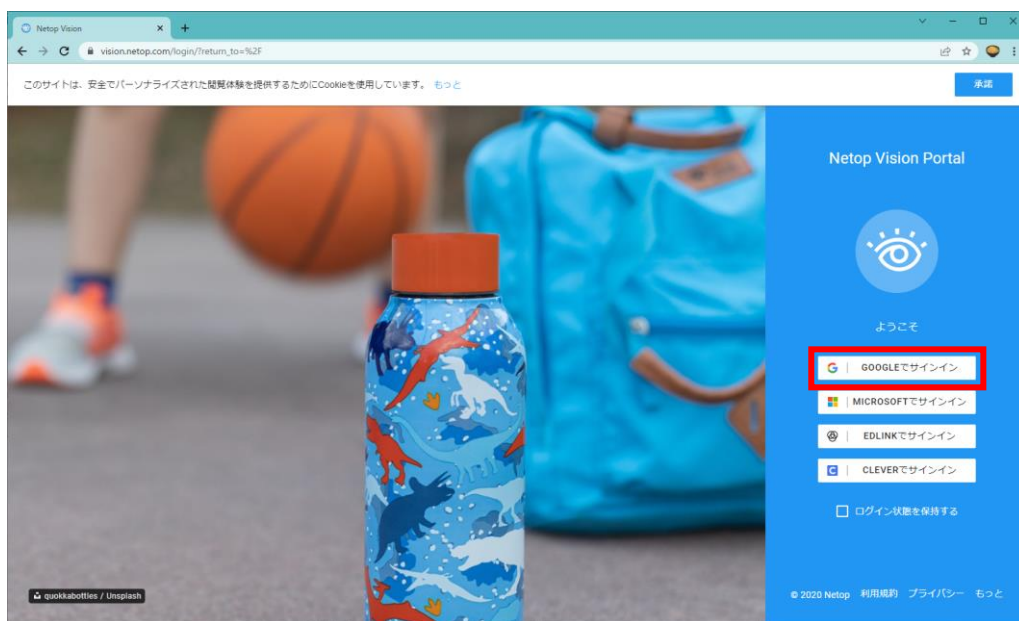


「Vision for Chromebooks における、生徒の画面共有通知画面が繰り返し表示される問題の回避手順」を実行した場合、それぞれ以下の手順で設定をもとに戻すことができます。

1. [手順 1. 本製品をフルスクリーンモードではなく、ブラウザタブのみのモードに設定する。]を実行していた場合

a. 先生または管理者ユーザーとして、<https://vision.netop.com> にログインします。



b. 管理者アカウントで、学校全体に変更を適用する場合は、以下のスクリーンショットにあるように[管理者設定]に移動し、[モニタリングモード]を“生徒に全画面の共有を求める。”に変更します。[管理者設定]でこの変更を行うと、ドメイン全体に適用されます。



先生アカウントで同様の設定を行う場合は[先生の設定]から[モニタリングモード]を“生徒に全画面の共有を求める。”に変更してください。なお管理者設定にて設定をしている場合は、そちらが適用されます。



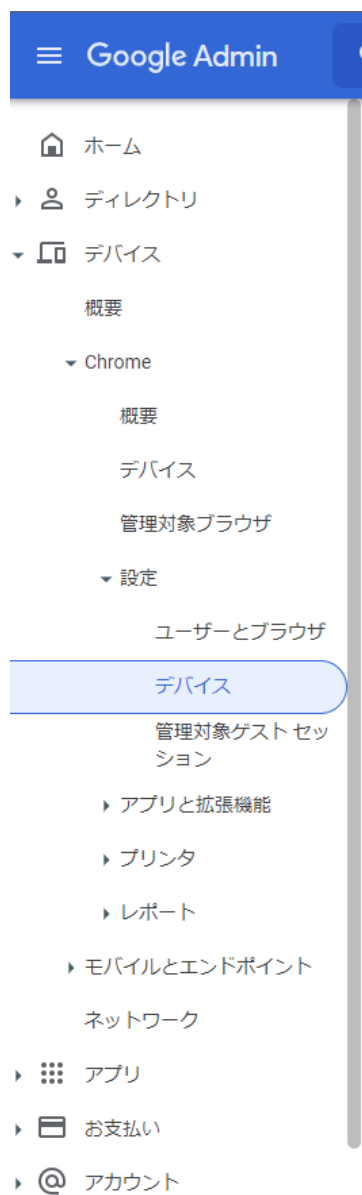
これらの設定を行うことで、問題の回避のために行った設定を元に戻すことができます。この場合、先生からモニタリングできるのは画面全体のモニタリングになります。クラスの

開始時に生徒に全画面の共有を求めるようになり。生徒が[全画面]以外を選択した場合、生徒が全画面を共有するまで承認画面を再表示します。

2. [手順 2. OS の自動更新を抑制する] を実行していた場合

a. <https://admin.google.com/> にアクセスし、ドメイン管理者アカウントでログインします。

b. ログイン後、画面左部のメニューツリーから[デバイス]>[Chrome]>[設定]>[デバイス]を選択します。



c. 設定を適用するグループを指定します。

d. [デバイスの更新設定] セクションにスクロールします。

を検索

最新情報

ユーザーとブラウザの設定 デバイスの設定 管理対象ゲストセッションの設定

会社 < + フィルタを追加、または検索

Google のデフォルトに設定し...

デバイスの更新設定

注: このセクションのポリシーは Chrome OS デバイスにのみ適用されます。Chrome ブラウザ クラウド管理のブラウザ設定を編集するには、[Chrome アップデート](#) に移動してください。

自動更新の設定 デバイスのアップデート
 Google のデフォルトに設定し... アップデートを許可する ▼

Google Chrome のバージョンを次までに制限する
 制限なし ▼

この組織部門のデバイスは、以下で設定されたアプリ制御によるアップデートに基づいて更新されます。アプリ制御によるアップデートが設定されている場合、このポリシーは無効になります。

リリース チャンネル
 Stable チャンネル ▼

リリース チャンネルを変更すると、現在の組織とその子組織に多大な影響が及ぶことがあります。この設定は、明確な目的がある場合にのみ変更するようにしてください。[リリース チャンネル](#) についての詳細を見る。

展開スケジュール
 デフォルト (新しいバージョンがリリースされるとデバイスが更新されます) ▼

その他のブラックアウトの時間帯
 新しく 時間を追加

e. [Google Chrome のバージョンを次までに制限する]が[98.*]になっていた場合、[制限なし] に設定してください。

デバイスの更新設定

注: このセクションのポリシーは Chrome OS デバイスにのみ適用されます。Chrome ブラウザ クラウド管理のブラウザ設定を編集するには、[Chrome アップデート](#) に移動してください。

自動更新の設定 ① デバイスのアップデート
 ローカルに適用 ▼ アップデートを許可する ▼

[Google Chrome のバージョンを次までに制限する](#)
 98.* ▼

この組織部門のデバイスは、以下で設定されたアプリ制御によるアップデートに基づいて更新されます。アプリ制御によるアップデートが設定されている場合、このポリシーは無効になります。

リリース チャンネル
 Stable チャンネル ▼

リリース チャンネルを変更すると、現在の組織とその子組織に多大な影響が及ぶことがあります。この設定